



コンプレッションヒップスクリュー(CHS)の曲げ試験

大腿骨頸部骨折固定器具CHSの耐久性を圧縮曲げ疲労試験により評価します。

測定技術の概要

大腿骨頸部に用いるCHSには、圧縮荷重と曲げモーメントが作用します。JIS T 0313あるいはASTM F384に準拠し、ラグスクリューとプレートを組み立てた状態のCHSの圧縮曲げ耐久性を評価します。

● 試験概要

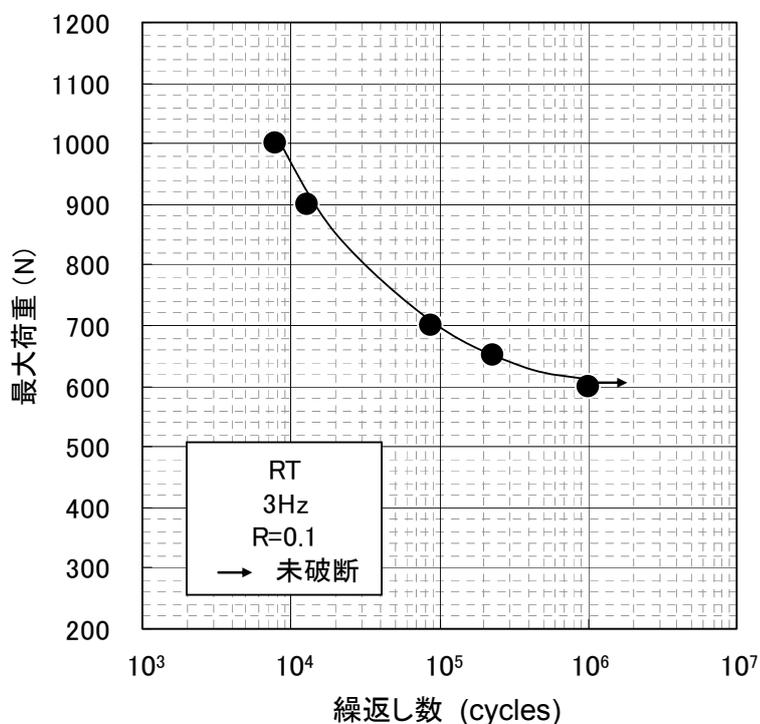
対応する規格	JIS T 0313「金属製骨接合用品の圧縮曲げ試験方法」 ASTM F 384「Standard Specifications and Test Methods for Metallic Angled Orthopedic Fracture Fixation Devices(金属製骨折固定用アングルの試験方法)」
試験環境	室温、大気中
試験方法	圧縮曲げ疲労試験
繰返し周波数	1~3Hz*
繰返し数	100万回*

*：上記以外の条件はご相談ください

測定技術の概要



疲労試験外観写真



荷重-繰返し数線図の例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。